

第 45 回野洲川冒険大会 ～いかだくんだり～

安全にいかだくだりを楽しむ
むために守ってほしいこと。



令和 8 年

野洲川冒険大会実行委員会

I 安全にいかだくたりに楽しむために守ってほしいこと。

① いかだくたりの安全について

<いかだ>

- 規定を守り、安全に配慮したいかだをつくりましょう。
(艇の番号はみえるようわかりやすくつけてください)

<服装等>

- 事故から身を守る服装や履物で参加しましょう。
(滑りにくく脱げにくい履物。擦り傷などを防ぐ服装。)
- ライフジャケットのサイズ確認を必ず確認しましょう。
(サイズが合わないものは危険です。)

<いかだくたりに中>

- コースに潜む危険を意識しましょう。
(川底の石、茂み、急な流れ等)
- 緊急事態発生時は旗を振って知らせてください。
- 川の左岸のエスケープルートを確認してください。
- いかだの上でふざけるのはやめましょう。
- いかだに乗るときは水分をもって乗りましょう。

<会場内>

- 安全のため、終日禁酒をお願いします。
- 熱中症予防のため、水分補給は十分にしましょう。
- 緊急車両の出入りの妨害にならないように駐車スペース以外の駐車はご遠慮ください。また、一方通行を守ってください。
- 河川敷の車の移動は 20 km/h を守ってください。
- 救護室、AED は本部に設置していますので、お知りおき下さい。

② 前夜祭の安全について

- 蛍光ブレスレットを着用しましょう。
- 保護者の方は、お子様から目を離さないようにしてください。
- 河川等危険箇所、聖火（キャンプファイヤー）の周囲は
- 立ち入りは禁止です。スタッフの指示に従ってください
- 安全のため終日禁酒をお願いします。

安全に気を付けて、



を楽しんでくださいね

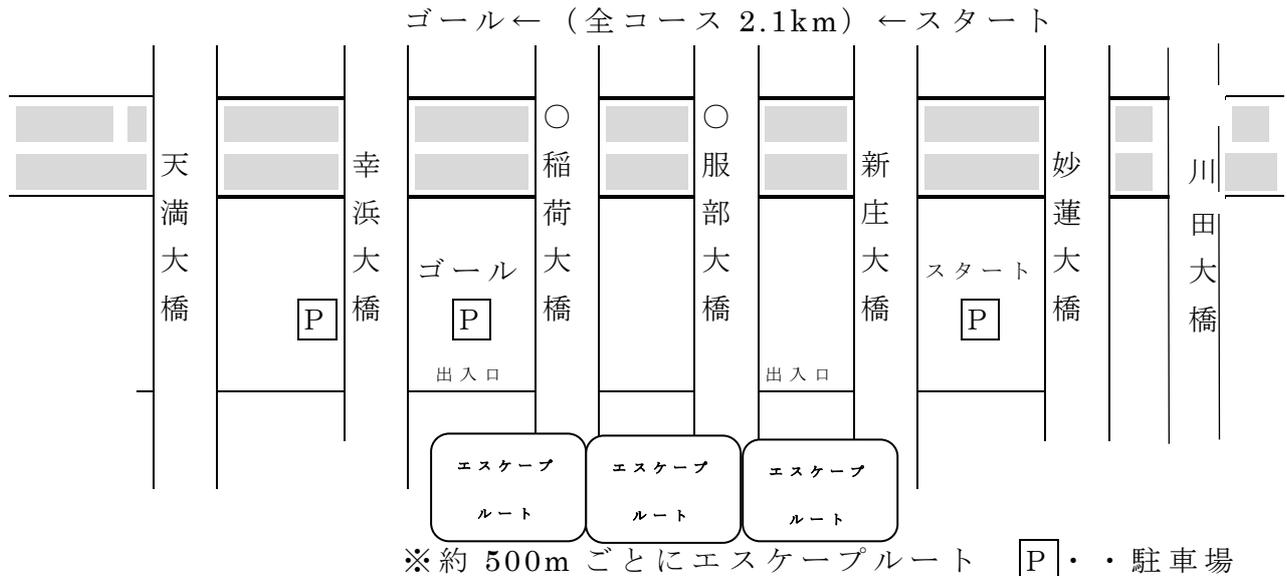
II 警備・救護計画

【いかだくだりの警備体制の詳細について】

① 大会の安全対策

- ・ A E D を本部に備え付け。
- ・ 5月30日(土)看護師1名・5月31日(日)医師1名、看護師1名が本部に常駐

② 服部・稲荷大橋の上より、いかだの安全を確認・陸上の通路を巡回



③ 市公用車による巡回

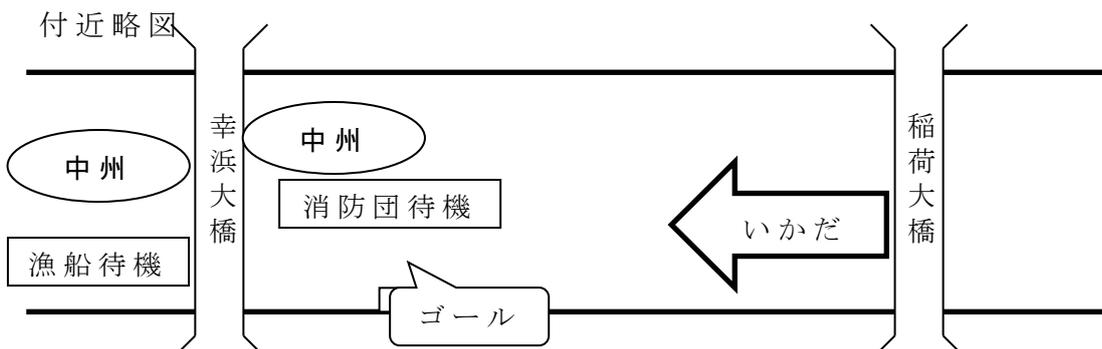
- (1) 救護車がコースを伴走。救護車には「救護車」表示をし、位置を明確にする。
- (2) 救急車の出動を要請した場合は、新庄大橋から救護車が先導する。

④ 消防団による警備・消防団車による巡回

実行委員会警備本部と連携して陸上・水上の警備活動を中心に依頼する。

⑤ 守山漁協による警備

ゴール地点である幸浜大橋上流の野洲川中洲親水公園にいかだが着岸できず下流方面に流されてしまった場合、幸浜大橋付近でそのいかだを救出することを目的とする。



第45回野洲川冒険大会 会場図



(E) … エスケープルート

【応急手当について】

《 切り傷・すり傷・さし傷など 》

- ① 汚れを落とす . . . 用意をしている水を使用する
- ② 消毒をする . . . オキシドール、マキロンを使用する
- ③ 出血の場合 . . . ガーゼやハンカチなどをあて、その上から手か包帯で止血【感染リスク回避のため、ビニール袋やゴム手袋を着用した上で止血を行い、直接血液や体液に触れないようにする。】

《 ねんざや脱臼・つき指・骨折など 》

骨・関節・筋肉・腱などの損傷に対する応急処置

- ① 患部を動かさない
- ② 水や冷水、アイスパックなどで患部を冷やす
- ③ スポンジやタオルをあてて軽く包帯を巻く
- ④ 患部を心臓より高く挙げる（還流をよくして腫れを防ぐ）

《 頭を打った場合など 》

- ① 頭をやや高くして静かに寝かせる
- ② 意識障害があるかどうかを見る
 - ・ 名前、生年月日がいえるか
 - ・ 手足をつねって反応があるかどうか
 - ・ まっすぐ歩けるか、麻痺がないか
 - ・ 顔色はどうか
 - ・ 強い頭痛がないか
 - ・ 耳や鼻から液が出ていないか

該当がある場合は、直ちに医療機関へ

《 鼻血の場合 》

- ① あわてずに座らせる
- ② 鼻翼部（鼻の膨らんだところ）を親指と人差し指でつまんで押さえる（10～15分くらい）

* それでも止まらない場合は、ガーゼを鼻に詰め、鼻の上を冷たいタオルなどで冷やす

* 鼻に詰めたガーゼは、30分ぐらいはそのままにしておく

《 溺水の場合 》

- ・ 溺水とは、水中に顔面が没して生じる窒息例のうち、24時間以上生存したものを指す
- ・ 溺水は、顔面さえ水中に没していれば発生する
- ・ 川で落水を見つけたら、顔が水中に没していないか注意する
- ・ 見つけたら、一刻も早く水面に浮き上がらせるようにする

* 注意すること

全ての溺水者は、**脊髄損傷**があるものとして対応する。落水した場

合は、障害物に強打したことも予想され、頸髄損傷の合併も考えて、頸部を伸ばしたり、体幹をひねったりしないように注意する。

《 熱中症の場合 》

- ① スポーツドリンクまたは経口補水塩などを飲ませる。但し、冷たいものを大量に飲ませると胃けいれんが起きることがあるので注意が必要。
- ② また、スポーツドリンクではナトリウム濃度が低いいため、病的脱水時にこれを与えると低ナトリウム血症から水中毒を誘発する可能性がある。特に、乳幼児等には注意が必要で、経口補水塩の投与が望ましい。
- ③ 霧吹きで全身に水を浴びせて、気化熱によって冷やす。霧吹きがないときは、口に水を含んで吹きかけてもよい。そのときの水は冷たくなくてよい。一気に水をかけるとショックが大きいので、冷たい缶ジュースや氷枕などを脇の下、股などの動脈が集中する部分にあてて冷やすのがよい。
- ④ 涼しい場所で休ませる。木陰やクーラーの効いたところで衣服を緩めるのがよい。クーラーを利かせた車両を用意して、すぐに休めるようにしておく。近くにそのような場所がないときは、うちわなどで早急に体を冷やす。

＜起きやすい環境等＞

- ・ 前日より急に温度があがった日
- ・ 温度が低くても、多湿であれば起こりやすい
- ・ かかりやすい時間帯（午前10時頃）と（午後1時～2時頃）
- ・ 高齢の人、肥満の人、睡眠不足の人、二日酔いの人、空腹の人、持病のある人などはかかりやすい

《 ハチにおそわれた（刺された）場合 》

- ・ 傷口を爪でつねり、毒を絞り出す。
- ・ 毒抜き用器具（ポイズンエクストラクター）を常備し、使用する。
- ・ ハチの毒は水に溶けやすいので、すぐに水で患部を洗い流す。
- ・ 早く病院に行く。

《 ヘビに噛まれた場合 》

- ・ 噛まれたヘビの特徴を覚えておく。
- ・ 毒ヘビは、できるだけ早いうちに噛まれた傷口を石けんと水で洗う。
- ・ 歩き回らずに、体を横にして、噛まれた位置を布で包み込むように圧迫して縛る。心臓より低い位置に持っていく。

＜注意すること＞

- ・ 30分以内に医師の治療を受けられない場合は、傷口の5～10cmほど上を、必ず指が1本くらい入るようゆるめに縛る。
- ・ 傷口に氷などの冷却物をあてない。
冷やすと毒を抜くことが難しくなる。
- ・ 毒を口で吸い出してはいけない

救命処置の流れ（心肺蘇生法と AED の使用）

人間の脳は2分以内に心肺蘇生が開始された場合の救命率は 90%程度ですが、4分では 50%、5分では 25%程度となります。

したがって、救急隊到着までの数分間（5～6分）に「現場に居合わせた人」による救命処置が救命率に大きく左右されますので、下記の手順をお願いします。

2 救命処置

(1) 心肺蘇生法の手順

